

夏休みのイベント紹介

夏休みは図書館へ行こう!

◆全館共通 夏休み臨時開館
日時 8月18日・25日の月曜日、午前9時30分～午後5時

◆南千住図書館
●科学あそび 紙飛行機を作って飛ばそう!
日時 7月30日(水)午後3時～4時
場所 地下1階視聴覚室
対象 小学生以上、30人(申し込み順)

◆日暮里図書館
●かがみのせかいをのぞいてみよう!
日時 8月6日(水)午後3時30分～4時
場所 おはなしのへや
対象 20人(申し込み順)

◆荒川図書館
●なりきり かおバッグであそぼう
日時 7月30日(水)午後3時～4時
場所 おはなしのへや
対象 4歳以上、20人(申し込み順)

◆尾久図書館
●マイエコバッグをつくろう!
日時 8月6日(水)午後3時～3時45分
場所 おはなしのへや
対象 4歳以上、15人(申し込み順)
*未就学児は保護者同伴

◆町屋図書館
●作ろう! かんたんまんげきょう
日時 7月30日(水)午後3時15分～3時45分
場所 おはなしのへや
対象 4歳以上、30人
申込み方法 直接会場へお越し下さい

◆日暮里図書館
●かがみのせかいをのぞいてみよう!
日時 8月6日(水)午後3時30分～4時
場所 おはなしのへや
対象 20人(申し込み順)

◆荒川図書館
●なりきり かおバッグであそぼう
日時 7月30日(水)午後3時～4時
場所 おはなしのへや
対象 4歳以上、20人(申し込み順)

◆尾久図書館
●マイエコバッグをつくろう!
日時 8月6日(水)午後3時～3時45分
場所 おはなしのへや
対象 4歳以上、15人(申し込み順)
*未就学児は保護者同伴

◆自由研究もバッチリ!
申込み・問合せ
◇南千住図書館 ☎(3807) 9221
◇荒川図書館 ☎(3891) 4349
◇尾久図書館 ☎(3800) 5821
◇町屋図書館 ☎(3892) 9821
◇日暮里図書館 ☎(3803) 1645

荒川ふるさと文化館に集まれ! 夏休み子ども博物館

●親子で楽しむ展示解説
あらかわの歴史や文化をわかりやすく解説します。直接会場へお越し下さい。
日時 8月23日(土)午後1時30分～2時30分
会場 1階展示室
対象 区内在住・在学の小・中学生、保護者
講師 野尻かおる(荒川ふるさと文化館館長)
費用 無料

●あらかわ職人道場
★人形の衣裳の生地で作るカードケースを作ろう!
日時 7月27日(日)①午後1時30分～2時②午後2時～2時30分
会場 地下1階視聴覚室
対象 区内在住・在学の小・中学生、各回5人(申し込み順)
講師 竹中重男氏・温恵氏(衣裳着人形)
費用 500円(材料費)

●マイ箸を作ろう!
日時 8月24日(日)①午後1時30分～2時②午後2時～2時30分③午後2時30分～3時
会場 地下1階視聴覚室
対象 区内在住・在学の小・中学生、各回4人(申し込み順)
講師 根本一徳氏(指物)
費用 500円(材料費)

●勾玉づくりにチャレンジ!
日時 8月5日(火)・10日(日)
午前9時～午後2時(昼休憩あり)、いずれか1日
会場 地下1階視聴覚室
対象 区内在住・在学の小学4年生～中学生、各回20人(申し込み順)、親子で参加可

講師 八代龍門氏
費用 500円(材料費)
●博物館探検&音の道具を調べよう!
～リトル学芸員
音の道具について調べてみよう!
日時 8月20日(水)午前10時～正午
会場 荒川ふるさと文化館内
対象 区内在住・在学の小・中学生、20人(申し込み順)
講師 荒川ふるさと文化館学芸員
費用 無料

●俳句を作ろう!
俳句と一緒に絵も描こう。
日時 8月21日(木)午前9時～午後3時(昼休憩あり)
会場 地下1階視聴覚室
対象 区内在住・在学の小・中学生、15人(申し込み順)
講師 加藤早苗氏(俳人協会幹事)
費用 無料

●あらかわ調べもの相談室
区の歴史・文化・産業などに関する分からないことを相談してみよう。
日時 7月19日(土)～8月31日(日)午前9時30分～11時30分
*毎週月曜日、7月22日(火)、8月14日(木)は除く
会場 1階郷土学習室
対象 小・中学生
費用 無料(申し込み不要)

申込み・問合せ
荒川ふるさと文化館 ☎(3807) 9234

荒川警察署で教えてもらったよ! 守ろう! 3つの約束

夏休みは、小・中学生の事故や事件が増加する時期でもあります。荒川警察署を訪ねたジュニア記者が、安全・防犯のために一人ひとりが守るべき3つのポイントを警察官の方から教えてもらいました。

1 自転車に正しく乗ろう
荒川区には、正しい自転車の乗り方を身に付ける自転車運転免許制度があります。二人乗りや並列、携帯電話の操作や音楽を聴きながらの運転は危険。交通ルールを守り安全に乗りましょう。

2 誘惑は勇気を出して断ろう
インターネット上で知り合った人にだまされる事件が増えています。「個人情報」を教えない」「絶対に会わない」ようにしましょう。また、危険な薬物を勧められた時も、しっかりと断る勇気を持ちましょう。

3 自分の安全は自分で守ろう
不審者は、暗い場所や子どもが一人になる時を狙っています。何かあったときは、防犯ブザーや大声で大人に助けを求めましょう。「自分だけは大丈夫」と思わず、普段から気を付けましょう。

懐かしいあの日あの時 思い出写真館 No.18 荒川遊園の50メートルプール

現在のあらかわ遊園スポーツハウスが建つ前、そこには区内唯一の50メートルプールがありました。コースは9コースもあり、とても大きなプールでした。平成3年に閉鎖となりましたが、夏になるとたくさんの人でにぎわっていました。

▲昭和59年8月に撮影された区民水泳大会の様子。50メートルを一直線に泳ぐことができました

防犯ブザー・生命を守るホイッスル

遊びに行く時も持っていこう
「いざという時、迷わず使おう」生活安全課の三村聡司さんから、防犯グッズの説明を聞くジュニア記者。峽田小6年、小川原菜那さん(中央)と矢野涼介くん(右)

おもいきり吹こう!
首から下げるストラップ付きのホイッスル。中には「緊急連絡用紙」が入っています。名前や連絡先、血液型などを書いておこう

安全・安心パトロールカー
青パトを運転・見回りしている伊橋定男さんと森茂男さん。「見かけたら、手を振って声をかけてくださいな」

安全・安心ステーション
「公園や学校の周辺を、よくパトロールしていますよ」と、日暮里安全・安心ステーションの地域安全指導員さん

みんなでしっかり覚えよう! 夏休み安全ガイド

これだけには知っておきたい
夏休みを安全に過ごすためには、どんなことに気を付けなければいけなさそう。もし事故や事件に巻き込まれそうになったら、どうしたらよいのだろう。自分でできる防犯の心がけから、いざという時に役立つことまで、知っておきたい夏休みの安全対策について、ジュニア記者が取材しました。

区役所の生活安全課で、自分のできる安全対策を教えてもらいました。
防犯ブザーと「生命を守るホイッスル」は、区内の小・中学生が持っている防犯グッズ。事故や事件、災害時に備えて、常に持ち歩くことが大切です。ホイッスルを吹いてみた小川原菜さんは「とても大きな高い音でビックリしました」と話していました。

見守られている地域の安全・安心
「安全・安心パトロールカー(青パト)」は、青い回転灯を付けた荒川区専用のパトロールカーです。毎日午後1時から翌朝午前5時まで、3台で区内を巡回しています。青パトが、交通安全や見守りをしていくことを知った矢野くん。「青パトの役割がわかりました」と話していました。さらに、地域の防犯拠点として「安全・安心ステーション」が区内の4カ所にあり、元警察官が常駐しています。危険を感じた時助けを求めれば、すぐに対応してくれます。

安全・安心ステーション
ジュニア記者が訪ねた「日暮里安全・安心ステーション」では「出かける時は、家族に行き先や帰る時間を伝えることが大事」と話していました。また、「安全・安心ステーション」以外にも「わがまちあんしん110番」の黄色いステッカーが貼ってある区内の施設や学校・商店・民家などへ避難すれば安心です。さまざまな面から安全について学び、夏休みの防犯意識を高めることができました。

わがまちあんしん110番ステッカー
日暮里区民事務所で黄色いステッカーを発見!
どこにあるか知っているか安心。日頃から貼ってある場所を見つけておこう

何かあったらここへ行けばいいんだね!